

令和5年度府中市立府中第六小学校授業改善推進プラン（学校全体の取組）

1 現状及び課題等（「全国学力・学習調査（6年）」及び「東京都児童・生徒の学力向上を図るための調査（4,5,6年）」の結果から）

(1) 学習改善の視点（児童の学び方）

- ① 集中してあきらめずに学習に取り組むことができる児童は多いが、学習方法を工夫して取り組んでいる児童がやや少ない。
- ② 分からなかったり他人と意見が違ったりするときに、質問をして相手の考えを確かめたり、自分の考えを積極的に伝えたりする児童がやや少ない。
- ③ 他人と相談して考えを深めるように意識して学習に取り組んでいる児童がやや少ない。

(2) 指導改善の視点（教師の指導方法）

- ① プリントやオンライン学習等、いろいろな学習方法の選択肢を与え、自ら工夫して学習に取り組む姿勢を育成する。
- ② 質問をしたり自分の考えを伝えたりしやすくするために、質問の仕方や意見の伝え方の話型を確認していく。
- ③ 友達と意見交流の場を設定し、考えを深めたと実感できる機会を増やしていく。

2 学校全体で目指す授業像

(1) 目指す児童の学びの姿

- ① 児童一人一人が見通しをもち、学び方を選択しながら主体的に学習課題に取り組んでいく。
- ② 「自分の考えを確認する」「友達の意見から考えを広げる」など目的をもって交流活動をする。
- ③ 授業の後、学習を振り返ることで、「何を学んだか」「どのように学んだか」「これからの学習にどう生かしたいか」など児童自身が学びを自覚したり、調整したりできる。

(2) 目指す授業像

- ① 学習課題に応じて、タブレットやホワイトボードなどの多様な学習方法を提示したり、様々な学習シートを用意したりして主体的に取り組めるようにする。
- ② 段階的に目的に応じた交流活動ができるように話型やモデルの提示・1時間の授業形態の工夫をする。
- ③ 学習計画を立てる・振り返りをする活動を取り入れることで見通しや学びの自覚をもつことができるようにする。

3 学校全体で取り組む授業改善の具体的な取組

(1) 各教科における授業改善のポイント【全学年共通】

国語	児童が単元の学習の見通しをもち、学習計画を立てたり言語活動を選んだりすることができるような指導を展開する。	音楽	児童が思いや意図をもって表現できるように、演奏技能や音楽の要素について理解し、表現活動に結び付けられるような指導をする。
算数	児童が、算数の多様な表現を使い、筋道を立てて考えを伝え合う活動を充実させ、統合的、発展的に考える力の向上を図る。	図画工作	既習事項を生かした系統的な授業計画を設定し、学んだことを活用して、造形的な見方・考え方を働かせながら表現や鑑賞の授業に取り組むことができるようにする。
社会	単元を通した学習問題と学習計画を児童とともに設定し、課題解決に向けた探究活動を主とした授業展開を基本として授業を行う。	家庭	単元を通した学習課題を設定し、課題解決に向けた探究活動と技能を習得することを主とした授業展開を基本として、実生活に役立てられるような授業を行う。
理科	事象提示の吟味や工夫を常に行い、児童が関心をもって課題解決のための実験や調べ学習に取り組めるようにしていく。予想→検証(実験・調べ)→結果→考察→結論 という授業の流れを確立する。	体育	学習の目標に向けて講じた手立てが有効であるかや、子供自身の考えを受けて教具や場の提供の仕方を工夫したり学習形態を柔軟に変更したりすることができるかを検討する。
生活	身近な人や物、事柄に関心をもてるように、具体的な活動や体験から感じた疑問や思ったことを共有し合う授業展開を行う。	外国語	ICTや交流を活用して、学習したことを実際に使って話す機会を増やしていく。帯活動で基礎基本の定着を図り、授業の展開、単元終末で自分の考えや思いを表現できるように指導する。

(2) 児童用タブレット端末の活用【市共通】

- ・ 様々な教科や生活の場面で、学習課題の解決の道具として、自ら ICT や思考ツールを選択して活用したり、友達と協働的にツールを活用したりできる力を育む。
- ・ ICT 部会を中心に教員研修の充実を図り、教師が情報伝達の道具として、学習活動に適した ICT を取捨選択できるよう、実践事例から学ぶ機会をつくり、授業の改善・充実を図る。